

題名:「台風9号が接近中！中生品種は出穂期間近！」

内容:

台風9号は7月30日現在、日本の南に位置しており、ほとんど停滞しています。台風の予想進路は定まらないものの、今後本県にも影響を及ぼす可能性がありますので、予報を随時確認するようにしましょう。台風接近時は稲体の消耗を防ぐため給水ができる圃場では一時的な湛水、もしくは飽水管理(作溝に水がある状態)を行い台風に備えましょう。

管内の中生品種では出穂期を迎えた圃場が散見されています。圃場をよく観察し、湛水管理(花水)は遅れずに実施しましょう！

※水管理の際は地域全体に水を行き渡らせることを最優先に考え、全員で節水に努めましょう。土地改良区の水利使用規則、地区の配水(番水)計画などのルールを必ず守りましょう。

●台風通過時、通過後の強風や、フェーン現象(高温・強風・低湿度)で稲体の消耗が大きくなります。一時的に湛水、もしくは飽水管理(作溝に水がある状態)を行って水分の補給をし、稲体を保護しましょう。

●出穂から穂揃い期(7日間程度)までは湛水管理(花水)を実施しましょう。  
※特に出穂直後にフェーン現象に遭遇すると、白穂や枝梗枯れが発生しやすくなります。湛水管理で稲体の保護をしましょう。

※花水、フェーン現象対策時に、用水の量が不十分である場合は、飽水管理(作溝に水を溜めておくこと)を実施し、土中に水分がある状態にしましょう。

●排水路の点検や、圃場管理等は事前に済ませ、台風接近時は身の安全を最優先し、圃場には近付かないようにしましょう